

第2回新規就農者等交流会を開催

【平成28年8月19日掲載】

7月26日、西部農業技術指導所は今年3月に続き、第2回目新規就農者等交流会を開催しました。

当日は、新規就農者等の農業者29名、関係機関24名の計53名の出席となりました。交流会の前半は、農研機構西日本農業研究センター、県農業技術センターの研究成果などの研修を行いました。特に西日本農業研究センターの黒崎先生から説明された「トマト等の高収益周年生産システムについて」については農業者の関心が非常に高く、盛んに質問がありました。

研修終了後の情報交換会では、農業者が互いに名刺交換する姿が多く見られ、今後も、地域・品目を越えた情報交換が進むことが期待されます。

出席した農業者のアンケートでは、「次回も参加したい。」、「農業者同志の交流を広げたい。」という意見が多くありました。新規就農者にとって実践的な助言をしてくれる先輩農業者は大変貴重な存在であり、経営が安定した後もこのような情報交換できる場が必要であることを改めて認識しました。

当所は今後も定期的に交流会を開催し、農業に関する情報収集、意見交換ができる機会を設け、新規就農者や更なる規模拡大を目指す農業者を支援していきます。



【西日本農研からの情報提供】



【情報交換会の様子】

情報提供元

西部農業技術指導所